

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-131	23-334	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Scoping review on the role of the family doctor in the prevention and care of patients with foetal alcohol spectrum disorder. 胎児性アルコール・スペクトラム障害の患者の予防とケアにおけるかかりつけ医の役割に関する範囲を限定したレビュー。		
<b>執筆者</b>		
Leruste S(1)(2), Doray B(3), Maillard T(8), Lebon C(3), Marimoutou C(3), Spodenkiewicz M(3)		
<b>掲載誌</b>		
BMC Prim Care. 2024 Feb 22;25(1):66. doi: 10.1186/s12875-024-02291-x.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
胎児性アルコール症候群、一般開業医、プライマリケア	38388880	
<b>要旨</b>		
<p><b>背景:</b> 胎児性アルコール・スペクトラム障害 (FASD) は、予防可能な非遺伝性の精神障害の主な原因である。患者のケアの方法について考えると、一般開業医 (GP) は FASD の予防と特定の最前線にいる。FASD の蔓延の重要性を認識し、一般開業医は FASD の検出と診断、また、出産適齢期の女性に対する予防のメッセージや、フォローアップも行っている。</p> <p><b>目的:</b> 本レビューの主な目的は、出産適齢期の女性、そのパートナー、および FASD 患者に対して一般開業医が実施できる介入の参考となることを提案することである。このレビューの最終的な目的は、FASD 患者のケアの質と知識の向上に貢献することである。</p> <p><b>方法:</b> PRISMA ガイドラインに従って、査読済みの論文のデータベースを用いたスコープレビューを行った。検索戦略は、5つのデジタルリソース上の論文の選択と照会に基づいている。これらの出版物の高度な検索は、FASD のさまざまなバリエーションを表すキーワード「胎児性アルコール症候群」、「胎児性アルコールスペクトラム障害」、「一般医学」、「プライマリケア」、「プライマリケア」を用いて設定され、フランス語と英語で検索された。</p> <p><b>結果:</b> 検索基準を満たす 23 件の記事が選択された。FASD 患者の管理における一般開業医の介入は多岐にわたる。予防、特定、診断、フォローアップ、教育、患者、その家族、妊娠中の女性とそのパートナーのためのコーディネーターとしての役割などである。FASD は依然として過小診断されていると思われる。</p> <p><b>結論:</b> FASD 患者の管理における一般開業医の介入は 包括的である。すなわち、予防、特定、診断、フォローアップ、教育、患者とその家族、および妊娠中の女性とそのパートナーのコーディネーターとしての役割である。予防的介入は、FASD の発症率を低下させ、それによって精神遅滞、発達遅延、および社会的、教育的、法的問題の発症率を低下させる。妊娠中のアルコール使用のスクリーニングについて訓練を受けプライマリケア医グループを対象としたクラスター無作為化試験は、出産適齢期の女性のアルコール使用と、その子供たちの臨床状態に対する訓練の影響を測定する上で有益である。</p>		